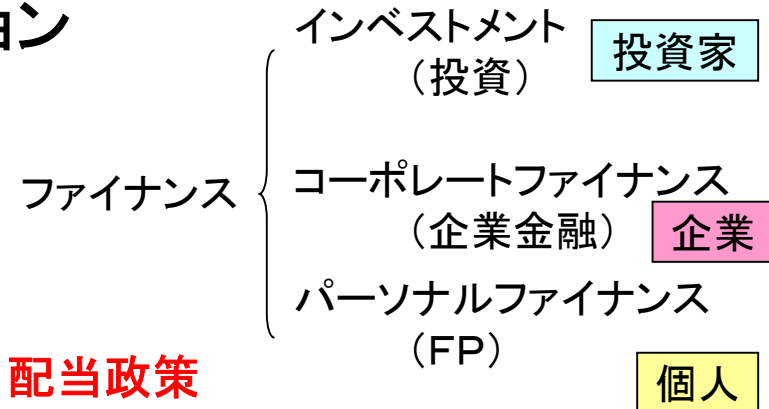


企業金融論

だれの立場から見るのか？

* 第1章 イン트로ダクション

1. 企業金融とは？ (コーポレートファイナンス)



株主の立場から企業の**資金調達、投資行動、配当政策**について考える (砂川伸幸 「コーポレート・ファイナンス入門」より)

企業価値の最大化という財務的観点からみた企業の目的を達成するために、**投資決定、資本構成、配当政策**という3つの領域において、どのような行動をとるべきかを考える。
(高橋文郎 「実践 コーポレートファイナンス」より)

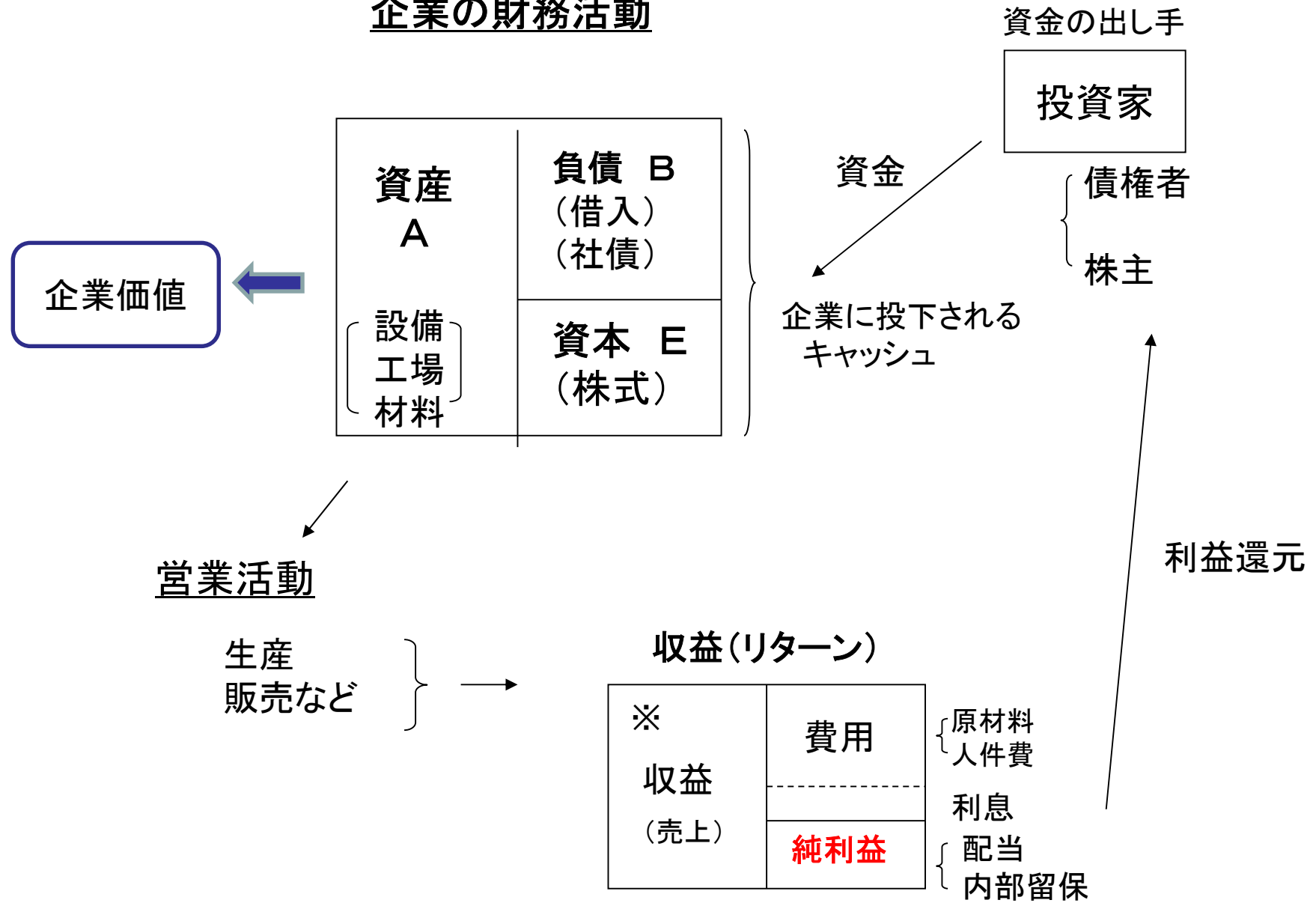
2. コーポレートファイナンスの視点

① 企業の資金の流れについて考える

資金調達 → 投資行動 → 配当政策

* 本章の説明は主に 砂川伸幸 「コーポレート・ファイナンス入門」に基づいている

企業の財務活動



※ この図は説明の便宜上、作成したもの。実際の簿記上では収益と費用は借方と貸方が逆になるので注意。



企業経営において、**どのように資金調達し、どのような資産やプロジェクトに投資して事業をおこない、得られたリターンをどのように配当するか？**

→ これら全体を考えるのが企業金融

② 株主の立場から考える

企業の目的 (3章)

結果として…

企業価値の最大化

→ 株価を高めることにつながる

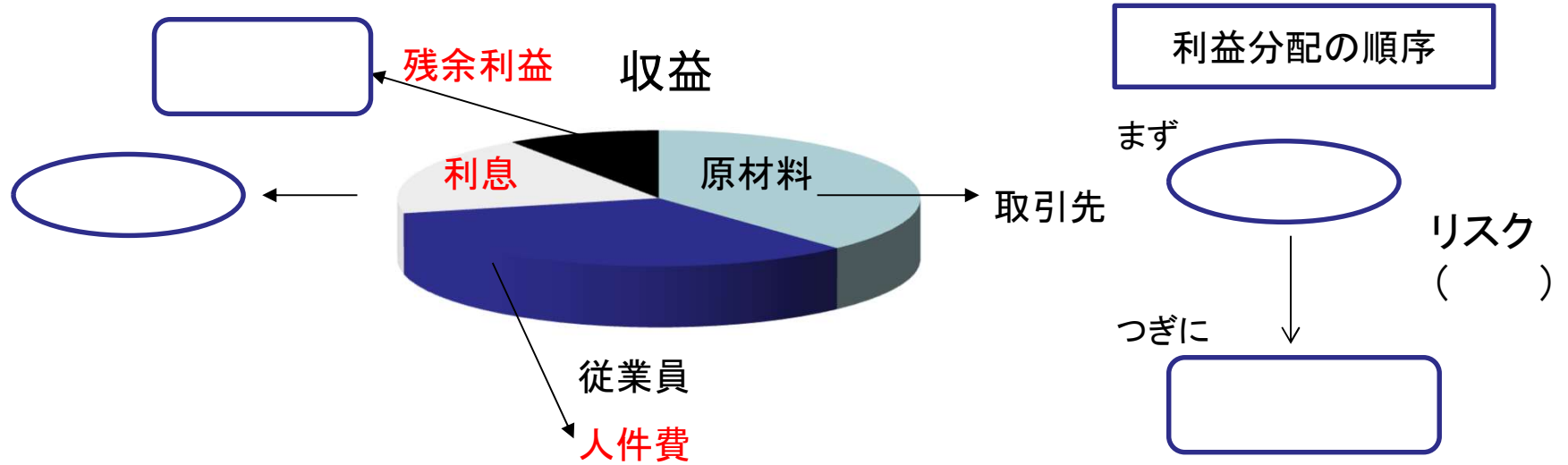
株主が満足できるような利益をあげて、株主に帰属する利益を高める



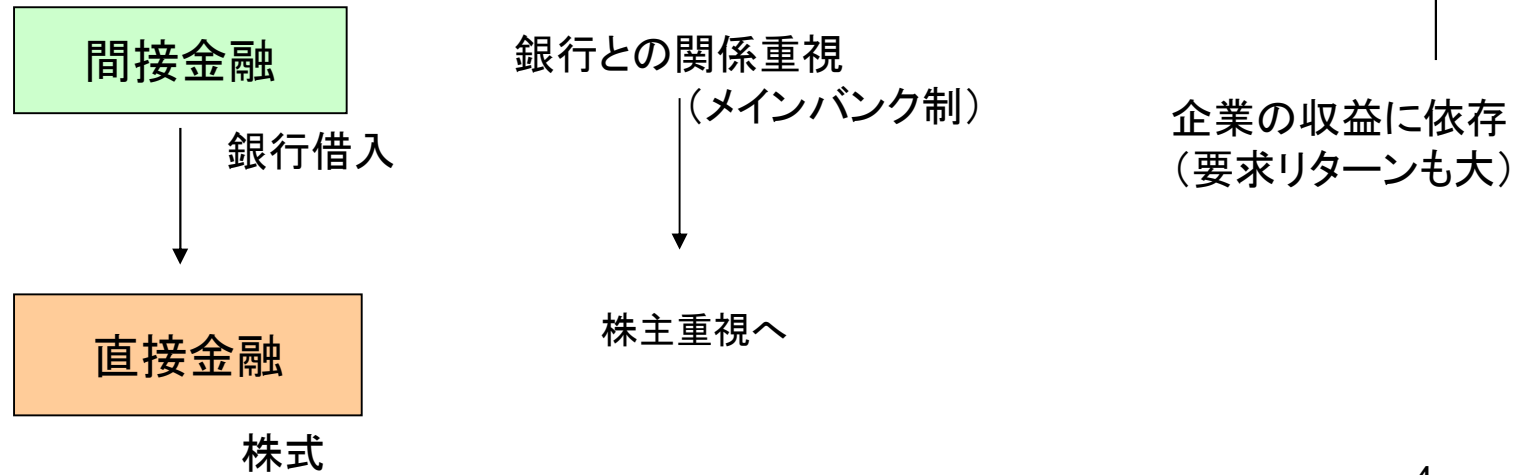
株主重視の
企業経営

なぜ株主重視なのか？

- 株主まで満足していればみんなが満足

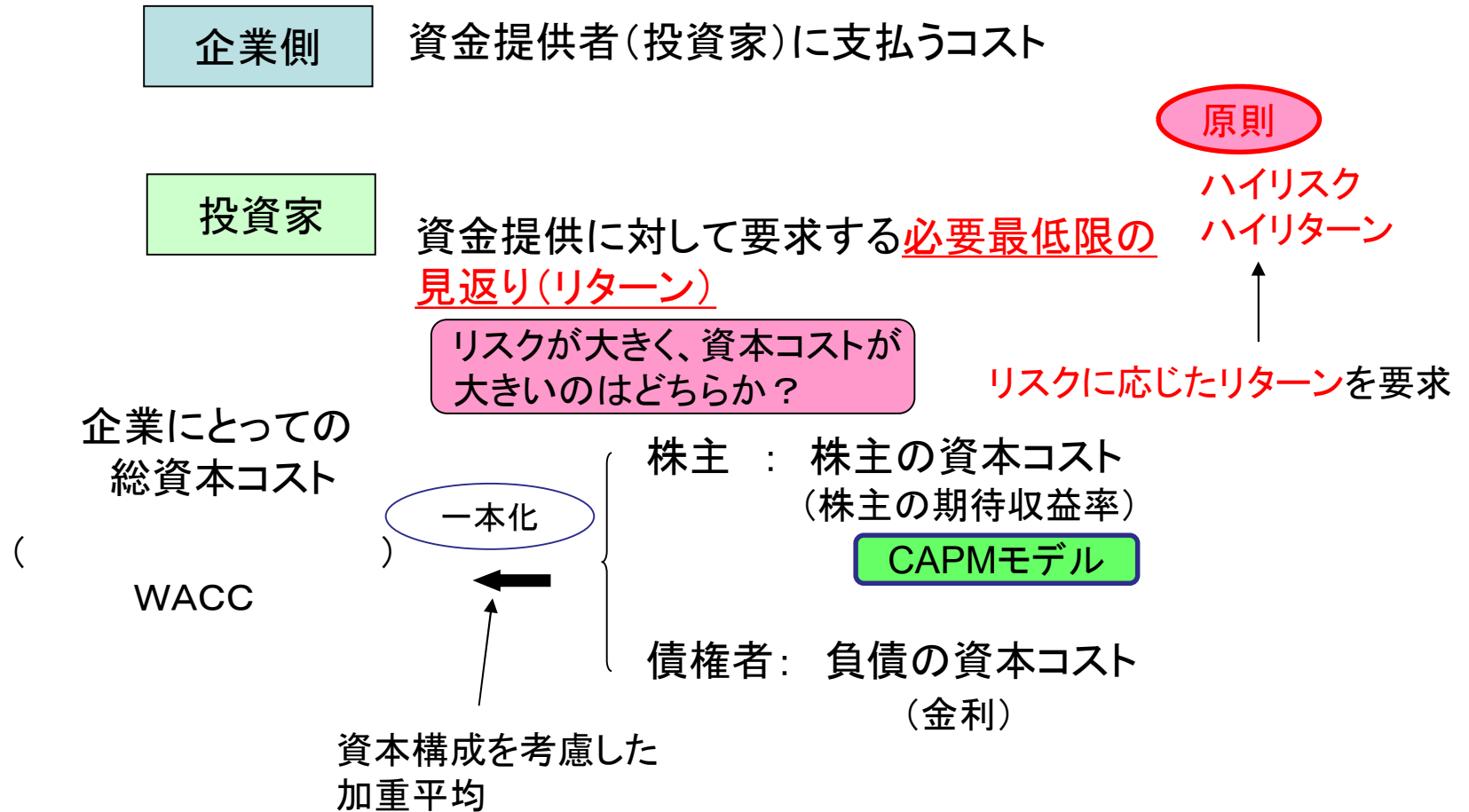


- 資金調達方法の変化



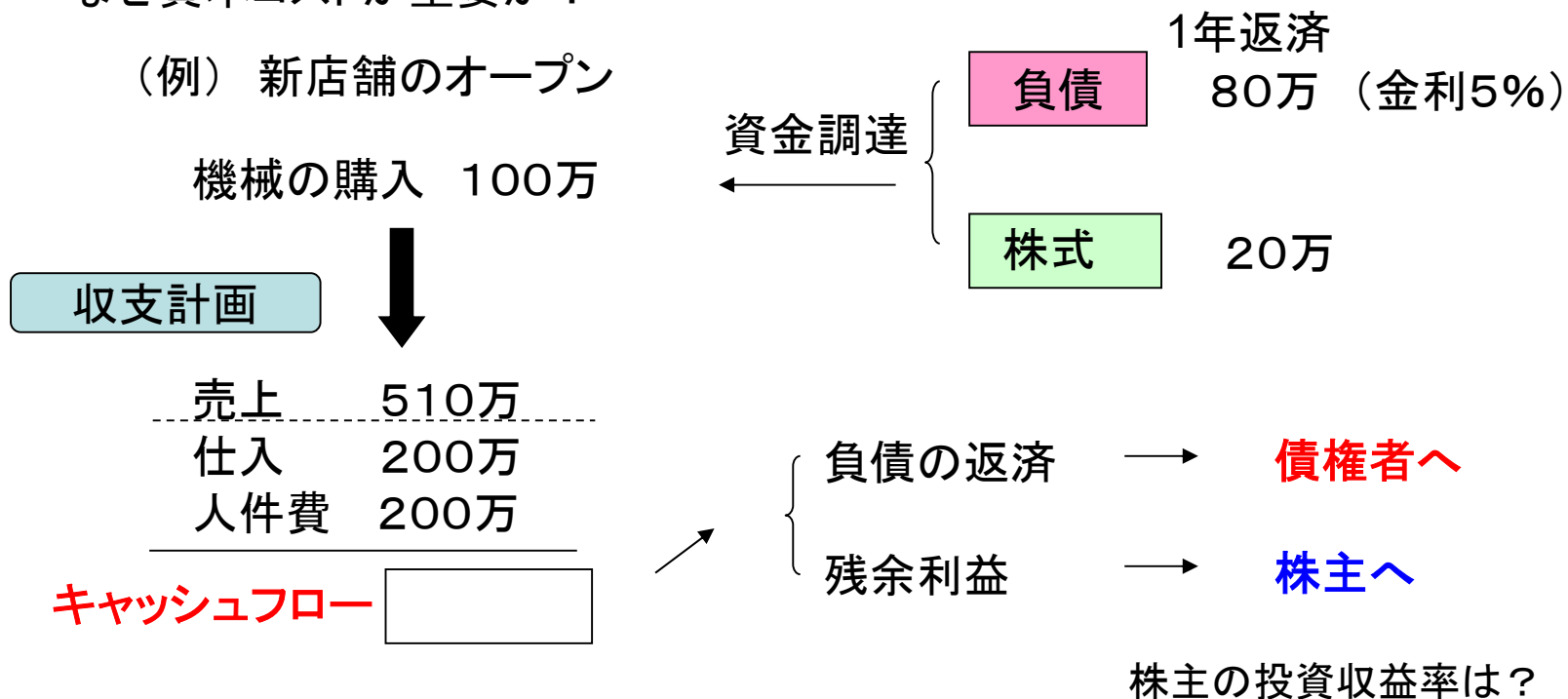
③ キーワードは「資本コスト」

- 資本コストとは？

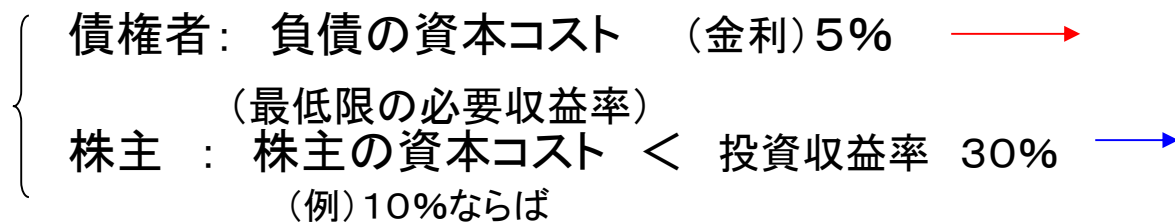


つまり、資本構成の影響を受ける
(どれだけ負債で調達して、どれだけ株主資本で
調達するか？)

・なぜ資本コストが重要か？



このとき、債権者と株主は資金調達に応じるか？



売上が500万ならばどうか？

株主の資本コスト () 投資収益率 →



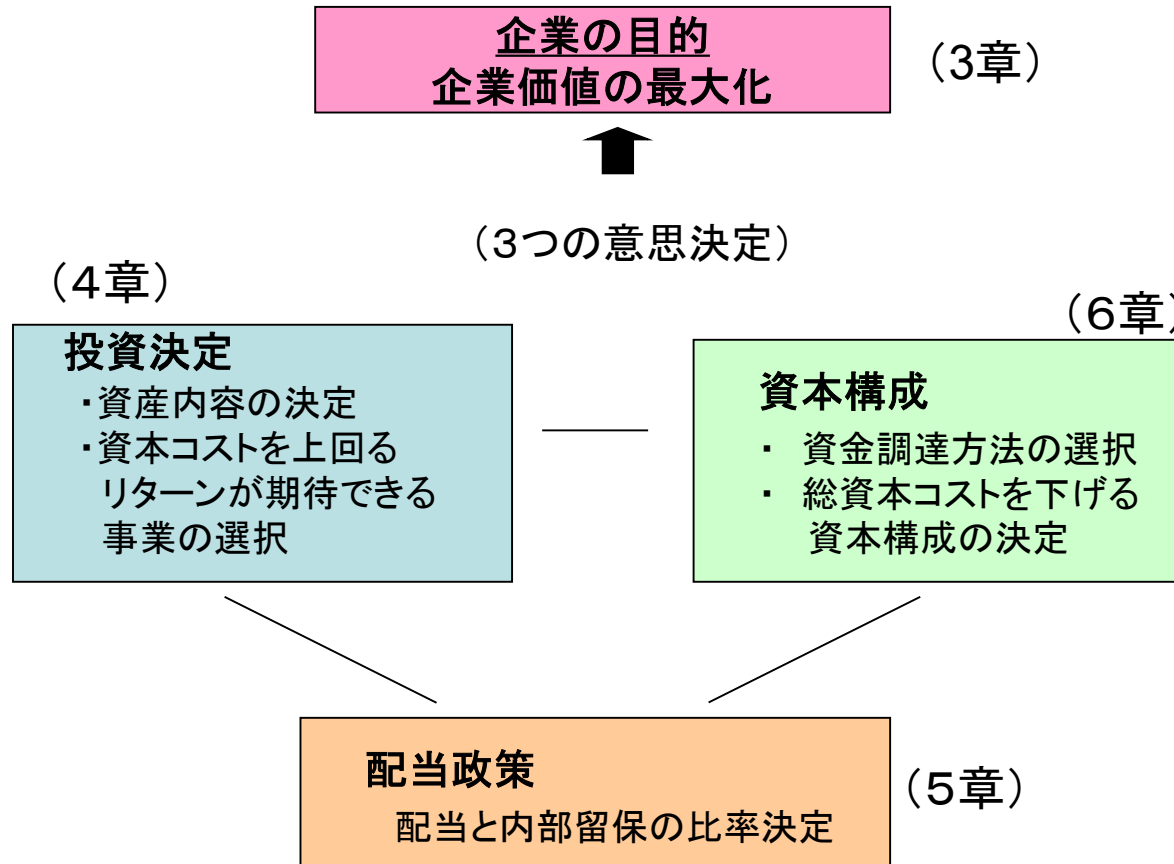
資本コストを上回る成果ならば資金調達できる → 企業価値上昇

株主重視の企業経営とは、資本コストを意識し、
それを上回る成果ができるように努めること

(砂川伸幸 「コーポレート・ファイナンス入門」より)

企業金融の全体像

(※ 出所: 高橋文郎 「実践コーポレートファイナンス」)



3. 本講義の構成

1. イントロダクション	1回
2. 企業金融論に関わる基礎知識 (現在価値・株主の期待収益率)	2回
3. キャッシュフローと企業価値	3回
4. 投資プロジェクトの評価	3回
5. 資金調達と配当政策	2回
6. 資本構成と企業価値	3回

※ 毎回、pdfファイルの「講義資料」をACE上の「コンテンツ」に掲載。
最終授業(15回目)に選択式20題の期末試験をオンライン上で実施予定。
原則として出席は取らない。(期末試験の提出が必須条件)

参考文献

「基礎からのコーポレート・ファイナンス」(第3版)
古川浩一・蜂谷豊彦・中里宗敬・今井潤一 著
中央経済社 2006年 (第8章～第12章中心)

砂川伸幸 「コーポレート・ファイナンス入門」(日経文庫)
日本経済新聞社 2010年(12版)

砂川伸幸・杉浦秀徳・川北秀隆 著 「日本企業のコーポレートファイナンス」
日本経済新聞社 2008年

田中慎一 & 保田隆明(2013)「あわせて学ぶ 会計&ファイナンス入門講座」(ダイヤモンド社)

石野雄一(2021)「実況！ビジネス力養成講義 ファイナンス」(日経BP日本経済新聞出版本部)